



令和2年度
広域産業振興局 事業報告(案)

関西広域連合 広域産業振興局

○ライフサイエンス分野におけるイノベーション創出に向けて【20,786千円】

- ・「メディカル ジャパン」等を活用した関西のポテンシャル発信・強化
- ・医療機器分野への参入に向けた医療機器相談の実施
- ・PMDA関西支部の活用促進(協調)

○グリーン分野におけるイノベーション創出に向けて【2,043千円】

- ・「グリーン・イノベーション研究成果企業化促進フォーラム」の実施
- ・バッテリー戦略推進センターの活用促進(協調)

○新たな分野でのイノベーションの創出に向けた環境整備【7,680千円】

- ・2025関西ショーケース推進プロジェクト<新規>
- ・企業のイノベーション創出を支援する広域的プラットフォーム構築

○SDGsの達成に取り組む企業への支援【1,918千円】

- ・関西プラスチックごみゼロ推進事業<新規>
- ・スモールビジネスモデルの情報発信

○地域魅力の発信・マーケットの拡大支援【6,906千円】

- ・ものづくりをはじめとする地域魅力の発信

○オール関西による企業の成長支援

- ・企業の成長支援機関の活用促進(協調)
- ・産学連携事業(協調)
- ・ビジネスサポートデスク(協調)

○人材の確保・育成施策の推進【266千円】

- ・人材検討会の運営
- ・「関西産業人材News letter」の発行

○情報発信機能の強化【1,407千円】

- ・広報活動の実施

○広域産業振興の取組にかかる評価・検証【192千円】

- ・「関西広域産業ビジョン」推進会議の運営

※協調事業:

構成府県市・関係団体の事業を活用し、連携して実施する事業。
※この資料における関西広域連合域内・構成府県市とは、産業振興分野に参画する滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市をいう。

ライフサイエンス分野におけるイノベーション創出に向けて

◇「メディカル ジャパン」等を活用した関西のポテンシャル発信・強化(18,562千円)

「メディカル ジャパン」等にブース出展などを行い、産学官連携で実現した製品・試作品の実物展示、医療機器分野への参入に向けた個別相談、大学等の研究成果と企業とのマッチングを目的としたセミナーなど、ビジョンに掲げる戦略に基づく取組を実施した。

《目標》ブース来場者数:3,400人以上、マッチング件数:セミナー発表数の1.4倍以上

《実績》ブース来場者数:4,797人(バーチャルブース来場者:1,792人含む)、
マッチング件数:セミナー発表数の1.3倍(発表数15本に対してマッチング20件) [アーカイブ配信分は4月上旬に集計見込み]

医療と介護の総合展 大阪 (通称:メディカル ジャパン 大阪)

【開催日】 令和3年2月24日(水)~26日(金)
【会場】 インテックス大阪(大阪市住之江区)
【主催】 リードエグジビション ジャパン(株)
【特別協力】 関西広域連合

<構成展示会>

(「メディカル ジャパン」は、次の8展示会の総称)

- ・病院運営 EXPO
- ・病院設備・医療機器 EXPO
- ・医療IT EXPO
- ・クリニック EXPO
- ・介護&看護 EXPO
- ・地域包括ケア EXPO
- ・次世代薬局 EXPO
- ・感染対策 EXPO

<併催展>

- ・再生医療 EXPO
- ・インターフェックス 大阪
- ・ファーマラボ EXPO

■「感染対策 EXPO」へのブースの出展

関西のライフサイエンス分野の強み・ポテンシャル、産学官連携の事例など、テーマごとにエリア設定し、映像やパネルに加え、製品・試作品の実物展示によりわかりやすく紹介。



さらに医療機器分野への参入に向けた個別相談、ブース内セミナー等を実施。

■「再生医療 EXPO」会場内でのセミナー実施

産学官連携の促進や医療機器等分野への参入促進を目的に、域内の大学・研究機関が企業とのマッチングを希望する研究成果を発表。

<オンライン対応>

- ・産学官連携展示:オンライン上にバーチャルブースを併設、会期中のオンライン商談
- ・セミナー:終了後にアーカイブ配信

◇医療機器分野への参入に向けた医療機器相談の実施(2,224千円)

ものづくり企業の医療機器分野への参入を支援するため、医薬品医療機器等法などの取り扱いに加え、知財や基盤技術、生産・管理、販売戦略など、事業化に向けた様々なステージにおける相談事業を実施した。

《目標》相談件数:250件以上

《実績》相談件数:296件(2月末時点)

- ＜実施内容＞ 相談業務、事業の周知活動 等
- ＜実施場所＞
 - ・大阪商工会議所 会議室
 - ・大阪イノベーションハブ※コロナ禍のため、R2年度は、基本オンラインで面談を実施
- ＜相談日時＞ 原則、毎週木曜日(10:00~17:00)
- ＜費用＞ 無料(同一相談企業等による同一案件の相談は2回まで)



(イメージ)

◇医薬品医療機器総合機構(PMDA)関西支部の活用促進【協調】

PMDA関西支部で実施している医薬品・医療機器・再生医療等製品の相談事業等について、広域連合域内企業の活用促進を図るため、周知・広報を行った。

グリーン分野におけるイノベーション創出に向けて

◇「グリーン・イノベーション研究成果企業化促進フォーラム」の実施(2,043千円)

関西が高い産業ポテンシャルを有するグリーン分野において、域内を中心とした大学・研究機関等の研究成果を域内の企業に広く発信し、シーズの企業化を促進した。

《目標》 参加者数: 200人以上
マッチング件数: フォーラム発表数(8人)の4.2倍以上⇒34件

《実績》 ライブ配信視聴者数: 208人(最大同時接続数)
マッチング件数: 48件(発表者8人の6倍)

フォーラムの概要

- ＜開催日＞ 令和3年1月12日(火)
- ＜場所＞ 大阪工業大学 梅田キャンパス OIT梅田タワー
- ＜テーマ＞ 水素・燃料電池、蓄電池等のグリーン分野
- ＜内容＞ ・特別講演
・研究成果発表



(昨年度の様子)

※コロナの影響によりオンライン開催

◇バッテリー戦略推進センターの活用促進【協調】

バッテリー産業の国際競争力強化を目指す大阪府の「バッテリー戦略推進センター」の実証コーディネート機能や分野参入に必要な機関・施設の紹介機能について、広域連合域内企業の活用促進を図るため、周知・広報を行った。

新たな分野でのイノベーションの創出に向けた環境整備

◇2025関西ショーケース推進プロジェクト<新規>(2,262千円)

2025年の大阪・関西万博を契機として、新たな試みにチャレンジする企業や人々が関西に次々と集い、関西の様々な企業のビジネスチャンスの拡大や国内外からの投資の拡大、健康関連などの分野における新たなイノベーションの創出につながるよう、新事業の創造とその実証の場を関西各地で展開し、その取組をショーケースとして国内外に発信していく。

<実施内容>

- 関西広域連合域内において展開される実証実験等、社会実装に向けた取組み事例を発信するサイトを構築（3月中オープン予定）

◇企業のイノベーション創出を支援する広域的プラットフォームの構築【拡充】(5,418千円)

利用者にとってわかりやすい情報発信やコンシェルジュ機能の充実など公設試験研究機関の一体的な運用に向けた取組や、マーケティング・コーディネート機能の強化などを通じ、入口（研究シーズ、市場ニーズ）から出口（事業化）までシームレスに企業を支援する広域的なプラットフォームの構築を通じ、中堅・中小企業等のイノベーション促進、成長を支援する。

《目標》産業技術支援フェアWeb講演会視聴者数：250人以上

《実績》産業技術支援フェアWeb講演会視聴者数：281人

<実施内容>

- 情報発信機能の拡充：ポータルサイト「かんさいラボサーチ」の構築（4/1オープン予定）
- 関係機関との連携強化：産業技術支援フェアの合同開催
 - ・「産業技術支援フェア in KANSAI 2020—モノづくりで明日の日本を照らそう！—」開催
 - <開催日> 令和2年11月27日（金）～ 12月18日（金）eポスター展示
 - 12月4日（金）Web講演会
 - ※コロナの影響によりオンライン開催
 - <内容> eポスター展示、Web講演会
- 「公設試等連携強化検討会」の運営

SDGsの達成に取り組む企業への支援

◇関西プラスチックごみゼロ推進事業 <新規> (1,918千円)

海洋プラスチック問題などの地球規模の環境問題の解決に向けた COP21での「パリ協定」の採択、G20大阪サミットでの「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」など、国際的な長期目標が設定される中、関西広域連合においても「関西プラスチックごみゼロ宣言」を発売し、プラスチックごみゼロに向けた各種活動や普及啓発に取り組んでいる。規制や啓発といった環境政策面の取組と並行し、プラスチックに代わる素材や製品の開発に向けた情報提供や研究開発支援、新たに創出された製品の販路拡大支援等、産業振興の側面からの取組を進めていく。

《目標》情報発信セミナー・公設試等による技術シーズ発表会&マッチング会・開発製品等の展示商談会等の総来場者数:1,000人以上

<実施内容>

○ SDGs対応技術展開催

<開催日> 令和2年10月22日(木)

<場所> 大阪産業創造館 3F・4F

<出展テーマ> SDGsの17の目標のうち、ものづくりと関係性の深い開発目標9項目

<出展企業> 36社(内、プラスチック関連13社)

<来場者数> 659人

※終了後一部企業については、紹介動画をYouTubeで配信中(R3年3月31日まで)

※特設Webページを開設しオンラインマッチングを実施(R3年1月8日~3月31日)

○「産業技術支援フェア in KANSAI 2020ーモノづくりで明日の日本を照らそう!ー」でのWEB講演会

<開催日> 令和2年12月4日(金)

<講演内容> 海水でも生分解性をもつ生分解性プラスチック用可塑剤について

<視聴者数> 168人

○プラスチックごみゼロシンポジウム

<開催日> 令和2年12月24日(木)オンライン開催

<内容> 関西広域連合プラスチック対策検討会の調査事業の報告 ほか

<視聴者数> 255人

○プラスチック対策推進セミナー

<開催日> 令和3年3月17日(水)~3月31日(水)(オンライン配信)

<テーマ> プラスチックを賢く使うためにー循環型社会の実現を目指すバイオプラスチックの開発
多様化する社会ニーズに応じていくためにはー

《実績》展商談会等の総来場者数:1,082人(2月末時点)



◇スモールビジネスモデルの情報発信

地域の課題をビジネスの手法によって解決し、地域経済の活性化や雇用の創出等に取り組んでいる企業の好事例を収集・発信、また構成府県市や経済団体等と共有を図った。

《目標》事例の収集・発信件数:7件以上

《実績》事例の収集・発信件数:5件(2月末時点)

地域魅力の発信・マーケットの拡大支援

◇ものづくりをはじめとする地域魅力の発信

デザインや実用性に優れた関西の工業製品などの産業資源をはじめとする関西の持つ魅力やポテンシャルを国内外に広く発信するプロモーション活動を展開する。

《目標》 首都圏催事の来場者数:8,200人以上(開催期間:4週間想定)
「CRAFT14」JHPアクセス件数:1,000件以上

《実績》 首都圏催事の来場者数:9,060人(ECサイトアクセス数:18,298件)
「CRAFT14」JHPアクセス件数:4,126件(2月末時点)>

<催事名称> 旅する日本市 関西(たびするにつぼんいち かんさい)

<実施時期> 令和2年12月16日(水)～令和3年1月12日(火)

<実施場所> 日本市 日本橋高島屋S.C.店(東京都中央区日本橋2-5-1)

※ECサイトを期間限定(R3年1月27日～2月16日)で開設



《目標》 個別相談企業数:25社

《実績》 個別相談企業数:18社

○ 海外プロモーション

<実施概要> ウィズ・ポストコロナ社会にあたり、海外販路の再開・再構築に備えた

① 欧米マーケットの最新情報やマーケティングに関するオンラインセミナーの開催
(令和3年1月26日(火)・2月2日(火))

② 商品開発・プロモーション戦略にかかる個別相談会の実施
(令和3年2月18日～2月26日の間に5日)

<セミナー受講者>のべ344人

※観光局との連携

フランスの観光ガイドブック「petit fute(プティフテ)」の関西シリーズ版を、観光局、産業振興局で共同制作

◇企業の成長支援機関の活用促進【協調】

域内企業の成長を支援する機関(※)が行う取組について、周知・広報を行い、その活用促進を図る。

(※)

- ・ INPIT近畿統括本部 (INPIT-KANSAI)
- ・ 医薬品医療機器総合機構 (PMDA) 関西支部〔再掲〕
- ・ 日本国際紛争解決センター
- ・ 統計データ利活用センター
- ・ 航空産業非破壊検査トレーニングセンター
- ・ 製品評価技術基盤機構 (NITE) 大阪事業所
- ・ 京都国際調停センター

等

◇産学連携促進事業【協調】

大阪府が大学や高等専門学校と連携して実施するセミナー等の産学連携事業について、周知・広報を行い、広域連合域内企業等の活用を促進する。

◇ビジネスサポートデスクの共同運用【協調】

事業主体：大阪産業局

アジア4地域(※)に設置している海外の企業支援拠点(ビジネスサポートデスク)について、全構成府県市での共同運用を実施し、中小企業等の海外ビジネス展開を支援。

(※)インド、タイ、ベトナム、ミャンマー

◇人材の確保・育成施策の推進

関西では今後、生産年齢人口の大幅な減少が見込まれており、関西経済の持続的成長のためには、人材不足の状況に対応した人材の確保が喫緊の課題である。

そのため、関西広域連合として取り組むべき人材の確保・育成に関する方策の検討を行うとともに、人材の確保・育成にあたり参考となるニュースや好事例等を収集し、情報発信することで、構成府県市はじめ関係機関、企業等の取り組みを促進する。

《目標》「関西産業人材情報誌」発行回数：3回以上
産業人材HPアクセス件数：2,600件以上

《実績》「関西産業人材情報誌」発行回数：2回（2月末時点）
産業人材HPアクセス件数：2,432件（2月末時点）

○人材検討会の運営

関西広域連合として取り組むべき人材の確保・育成に関する方策の検討を行う。

○「関西産業人材情報誌」の発行

関西広域連合域内における人材の育成・確保に資することを目的として、域内の大学や経済団体、企業の実践事例、参考となるニュースや好事例等の情報を収集し、「関西産業人材情報誌」として発行する。

情報発信機能の強化

◇広報活動の実施

広域産業振興局や構成府県市の施策について、ホームページやメールマガジンの発行等を通じて、域内外に向け、最新情報の提供を行う。

《目標》 広域産業振興局HPアクセス件数:27,000件以上

《実績》 広域産業振興局HPアクセス件数:30,202件(2月末時点)

広域産業振興の取組に係る評価・検証

◇「関西広域産業ビジョン」推進会議の運営

ビジョンに掲げた戦略に基づく取組の評価・検証に対する助言を受けるとともに、ビジョンの推進に係る意見交換を行うため、「関西広域産業ビジョン」推進会議を運営する。



(推進会議の様子)

<「関西広域産業ビジョン」推進会議 委員>

(学識経験者)

甲南大学経済学部 教授

兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 教授

関西学院大学商学部 教授

稲田 義久 氏

加藤 恵正 氏

川端 基夫 氏

(経済団体)

徳島県商工会議所連合会 専務理事

鳥取県商工会議所連合会 幹事長

公益社団法人関西経済連合会 理事・産業部長

近畿府県商工会連合会連絡協議会 理事

大阪商工会議所 総務企画部長

小笠 恭彦 氏(徳島商工会議所 専務理事)

中山 孝一 氏(鳥取商工会議所 専務理事)

野島 学 氏

早川 巖 氏(大阪府商工会連合会 会長)

丸山 新二 氏(関西商工会議所連合会 事務局)

(官公庁)

近畿経済産業局 地域経済部 地域開発室長

河上 康裕 氏

参考:「関西広域産業ビジョン」に掲げる戦略への位置づけ

戦略	事業
<p>【戦略1】 関西の優位性を活かしたイノベーション創出環境・機能の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「メディカル ジャパン」等を活用した関西のポテンシャル発信・強化 ・医療機器分野への参入に向けた医療機器相談の実施 ・PMDA関西支部の活用促進【協調】 ・「グリーン・イノベーション研究成果企業化促進フォーラム」の実施 ・バッテリー戦略推進センターの活用促進【協調】 ・2025関西ショーケース推進プロジェクト【新規】 ・企業のイノベーション創出を支援する広域的プラットフォーム構築
<p>【戦略2】 高付加価値化による中堅・中小企業等の成長支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「メディカル ジャパン」等を活用した関西のポテンシャル発信・強化(再掲) ・企業のイノベーション創出を支援する広域的プラットフォーム構築(再掲) ・関西プラスチックごみゼロ推進事業【新規】 ・スモールビジネスモデルの情報発信 ・企業の成長支援機関の活用促進【協調】 ・産学連携事業【協調】 ・ビジネスサポートデスク【協調】 ・ものづくりをはじめとする地域魅力の発信
<p>【戦略3】 個性豊かな地域の魅力を活かした地域経済の活性化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「メディカル ジャパン」等を活用した関西のポテンシャル発信・強化(再掲) ・ものづくりをはじめとする地域魅力の発信(再掲) ・スモールビジネスモデルの情報発信(再掲)
<p>関西を支える人材の確保・育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人材確保・育成方策検討会の運営 ・「関西産業人材News letter」の発行